

論文要旨

氏名	久保田 潤平
<p data-bbox="288 510 467 548">論文の要旨</p> <p data-bbox="252 571 1356 797">近年、味がおかしいと訴える患者は増加傾向にあるが、その治療法に対する統一見解が得られているとは言い難い。食事は栄養を補給するというだけでなく、独特な心理的安定感、満足感をもたらすものであり、その中で味覚は大きな役割を果たしている。そのため味覚が障害されると食欲低下に加え、精神的苦痛をこうむることもつながる。特に高齢者などの虚弱な状態では味の変化から食欲不振を生じ、低栄養や生活に対する意欲の減退につながることもあり、味覚障害への対応は急務といえる。</p> <p data-bbox="252 801 1356 875">そこで、「味がおかしい」と歯科受診する患者に注目してそのリスク因子および治療方法について検討を行った。</p> <p data-bbox="280 880 1305 913">研究①味がおかしいと訴えた高齢者に対する自記式質問票調査ーリスク因子の検討ー</p> <p data-bbox="252 918 1356 1144">対象：平成23年7月～平成25年11月に、九州歯科大学附属病院口腔環境科（以下、当科）を受診した初診高齢者968人に対して、当科初診時に味覚などの口腔内違和感に関連すると考えられる全身状況や体質に関する自記式質問票調査を行い、有効回答例328人に対して統計学的分析を行った。その結果、「味がおかしいと感じる」と「口の中がネバネバする、話しにくい」、「食欲がない」および「天気が悪い時に関節の痛みや頭痛を感じる」などとの間に有意($p<0.05$)な関係を認めた。</p> <p data-bbox="252 1149 1356 1339">以上から、味がおかしいと感じることに口腔環境や食欲不振、天候の変化なども影響していることを明らかにできた。東洋医学では水分代謝不良が気圧の変化に敏感にさせるとされ、近年では西洋医学的手法で気圧と関節リウマチ性滑膜炎との有意な関連性を明らかにした研究報告もあり、「天気が悪い時に関節の痛みや頭痛を感じる」と答えた者は水分代謝不良が関係していると推察できた。</p> <p data-bbox="280 1344 1094 1377">研究②水分代謝不良による味覚障害患者に対する漢方薬応用の検討</p> <p data-bbox="252 1382 1356 1456">研究①の結果を考慮し、当科において水分代謝不良と関連する味覚障害と考えられた者の割合および、そのように診断した患者に対する漢方薬応用の有用性を検討した。</p> <p data-bbox="252 1460 1356 1762">平成23年7月～平成26年3月に味覚の異常感を訴えて当科を受診した患者のうち、当科受診前に他科・他院を受診し、原因の特定できない特発性味覚障害とされ治療を受けたが改善しなかった、もしくは治療方法がないとされた82人に対して、対象者の診療録から全身状態や主訴に関する項目を抽出すると共に水分代謝改善作用を有する漢方薬の五苓散または八味地黄丸の服用による有用性の検討を行った。その結果、当科において水分代謝不良と判断した対象者は82人中45人(54.9%)だった。服用開始6ヵ月後において自覚症状が治癒した者が21人(46.7%)、改善した者20人(44.4%)、不変だった者4人(8.9%)で、有意($p<0.01$)な改善がみられた。</p> <p data-bbox="252 1767 1356 1841">以上から、水分代謝不良による味覚障害に対する水分代謝改善作用を有する漢方薬応用の有用性が示唆された。</p> <p data-bbox="252 1845 1356 1957">研究①および②の結果より、味覚障害のリスクとして口腔環境や体質などが関係していることがわかった。特発性味覚障害とされた患者の中には水分代謝不良が原因と考えられる場合もあり、水分代謝改善作用のある漢方薬応用が有用であることを明らかにした。</p>	

